

令和元年6月28日



7月 釜小だよ

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>

振り返りを大切に

校長 菊池 幸博



地域交流室前の七夕飾り

6月15日(土)の土曜参観には多くの保護者、地域の皆様や近隣校の教職員の皆様に来校いただきありがとうございました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

6月18日(火)新潟県、山形県を中心に起きた地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻せますようお祈り申し上げます。

さて、6月は1年の流れで言えば上半期、年度で考えますと四半期にあたり、3学期制を実施している学校であれば1学期の終わりとなり、子どもたちもどこか開放感をもって夏休みを迎えるのではないのでしょうか。こうした一つの大きな節目にあたる6月が終わり、新たな次の節目となる7月に入ります。この四半期を振り返り、まとめ、次にどのように進むかを考える手立ての一つとして個人面談を実施いたします。短い時間となります、また、お忙しいところ恐縮ではありますが、ご協力お願いいたします。

7月は、日数的には14日間と非常に短い月ではありますが、夏休み前の学習のまとめや、長い夏休みにしかできない体験や経験のための計画、そして普段なかなか時間がなくてできない、興味をもっていることの研究や活動などの準備等とても大切な月であります。どうかご家庭でも、これまでの3か月をお子さんと一緒に振り返っていただき、今後に向けての計画等をお考えいただければと思います。

本来でしたら今月号の巻頭文には6月21日(金)22日(土)に実施予定であった「愛川宿泊体験学習」の様子をお伝えするところでありましたが、すでにご承知の事件の影響で、愛川町に出発することができませんでした。子どもたちの安全を第一と考え、前日ぎりぎりまで事件解決を待っていたのですが残念ながら「延期」という判断をせざるを得ませんでした。延期のお知らせをした時にはさすがに子どもたちはがっかりした様子でしたが、翌日からは気持ちを切り替えて前に進もうという声が聞こえてきました。実にたくましい子どもたちです。こうした子どもたちの様子から、教職員が元気をもらった気がします。